

2022年3月9日(水曜日)の読売新聞に 「自宅療養者への支援」等について掲載されました!

自宅療養急増「備えを」

自治体呼びかけ 物資配達数日待ちも

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県内では自宅療養者が急増し、7日現在で5493人に達している。外出自粛が求められる自宅療養者に対し、各市町は物資の配給などの支援をしており、協力する民間企業も出始めている。

(三枝未来、折田唯)

県内の自宅療養者は昨年11月30日時点で0人だった「クロン株」の感染拡大など

自宅療養に備えた 家庭備蓄

※ 新型コロナウイルス感染症に感染して自宅療養している方、または濃厚接触者として自宅療養している方、または高齢者や基礎疾患のある方、一人暮らしの方など、在宅療養が困難な方への支援として、自治体から配布される物資の一例です。

| 緊急物資の備蓄型 (一人1人・10日分) | | | |
|---|--|---|---|
| 食料 (米、食油、食塩、調味料、インスタント食品、缶詰、乾麺、脱水野菜、缶ジュース、常温野菜ジュース、常温果物ジュース、常温ヨーグルト、常温牛乳) | 日用品 (紙おむつ、紙ナプキン、紙トイレットペーパー、紙タオル、洗剤、柔軟剤、漂白剤、消毒剤、拭き取り剤、除菌剤、マスク、手袋、靴下、スリッパ) | 医薬品 (解熱剤、鎮痛剤、抗生剤、アレルギー薬、吸入器、吸入薬、吸入器用吸入薬、吸入器用吸入薬、吸入器用吸入薬) | その他 (保温ジャー、保温ポット、保温マグカップ、保温コップ、保温ボトル、保温タンブラー、保温ボトル、保温タンブラー、保温ボトル、保温タンブラー) |
| その他 (保温ジャー、保温ポット、保温マグカップ、保温コップ、保温ボトル、保温タンブラー、保温ボトル、保温タンブラー) | その他 (保温ジャー、保温ポット、保温マグカップ、保温コップ、保温ボトル、保温タンブラー、保温ボトル、保温タンブラー) | その他 (保温ジャー、保温ポット、保温マグカップ、保温コップ、保温ボトル、保温タンブラー、保温ボトル、保温タンブラー) | その他 (保温ジャー、保温ポット、保温マグカップ、保温コップ、保温ボトル、保温タンブラー、保温ボトル、保温タンブラー) |



②自宅療養者支援のため自治体に寄贈されたパン缶(2月22日、那須塩原市で) ③小山市が作成した、自宅療養に備えて家庭備蓄を呼びかけるチラシ

で、1か月後の12月30日は46人、2か月後の今年1月30日は4542人と急激に増え続けてきた。県は自宅療養者に対し、外出自粛や極力個室から出ないことを求めている。生活必需品の入手などで苦労するとの声も出ている。

■申し込み殺到

小山市は、希望する自宅療養者らに日常生活用品を配達している。昨年8月の開始から年末までの利用は27件だったが、今年に入って申し込みが殺到。2月以降は1日平均20件ほどの申し込みがあり、通算の利用件数も900件を超えた。人気の手指消毒剤などは、在庫切れで配達まで数日かかることもあるという。

市は2月、自宅療養に必要な日常生活品の備蓄を呼びかけるチラシを作成。担当者「誰が感染してもおかしくない状況。感染防止だけでなく、感染を想定し

た準備もしておいてほしい」と語る。

■ハンドブック配布

栃木市は2月7日から、PCRなどの検査を受けた後、結果が出るまで自宅療養を余儀なくされる人に、生活物資を支援するサービスを始めた。感染急拡大に伴い、検査日から結果判明まで時間がかかることに対応した。

足利市や佐野市は自宅療養者に対し、相談先などを記載したハンドブックを郵送している。足利市のハンドブックでは、家庭内での感染拡大を防ぐ方法や、症状が悪化した際の連絡先などを紹介。担当者は「紙のハンドブックなら幅広い世代が情報を入手できる。自宅療養への不安を少しでも軽減できれば」と話した。

■民間企業も協力

民間企業が自治体に協力し、物資を寄付する動きも

ある。那須塩原市のパン製造販売会社「パン・アキモト」は2月10日、市に約560個の非常用のパン缶を寄贈した。県や大田原市にも計800個以上を提供している。

同社は、非常用パン缶を賞味期限の半年ほど前から回収し、新たなパン缶を購入し、新しいパン缶を贈り、入してもらった代わりに、飢餓に苦しむ途上国に送る取り組みを続けてきた。今回は「身近で困っている人のために」と、生活物資を配る自治体に寄付。秋元信彦専務(42)は「各企業が商品や技術を生かし、自宅療養者らへの支援を広げられたら」と願う。